



Yonago East Weekly

【生涯の友と共に、扉を開く】

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 スマイルホテル米子 Tel (0859) 32-5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ANAクラウンプラザホテル米子
米子市久米町53-2 Tel (0859) 36-1111
- 会長/西村正男 ●幹事/足立博俊 ●会報/面谷博紀

出席報告

会員数 106 名
出席数 50 名 欠席数 50 名
出席免除会員 6 名 荒川(雄)君 杉原(弘)君
新納君 佐田山君(有) 宮本(守)君 高橋君
出席率 51.92 %

ビジター

メイクアップ

会員7名(1/25次年度地区補助金プロジェクト引継ぎ) 理事11名(2/2理事会)

今週のお祝

夫人誕生祝:2日 尾沢三夫君 12日 池口由紀彦

君 14日 石井敬薫君 19日 宮本寛雄君 24日 宮永誠治君 27日 木美俊彦君 30日 野津一成君

結婚記念日祝:1日 室 敦文君 12日 永島正道君 15日 杉原秀一郎君 16日 吉岡朋美君 20日 深井基義君 27日 赤木勇夫君 梅田整一君

スマイルBOX 24,000 円 (643,000 円)

本人誕生祝:石部君 夫人誕生祝:池口君、石井君、木美君、宮永君、野津君、尾沢(三)君
結婚記念日祝:赤木君、永島(正)君、杉原(秀)君、吉岡君 創立記念日祝:岡(久)君

会長挨拶

不幸にも米子市でも新型コロナ感染で死亡者ががでしたが、情勢を見極めて出来るだけ例会を開催していきたいと思ひます。理事会をオンラインにて開催しようと思ひます。弁当の持ち帰り例会はいいことだと思ひます。今後も理事の皆さんの意見を聞いて工夫してやっていきたいと思ひます。今日は大変な時に集まっていたいて、どうもありがとうございました。

幹事報告

- (1)本日の例会 12:30~13:10 お弁当持ち帰り (会場でも食事可)
- (2)来週、下期会費のご案内発送予定
口座振替は1/25
- (3)2/17米子がいな祭振興会総会の開催について (ご案内)
米子がいな祭振興会 会長 伊木隆司様より
- (4)例会変更のお知らせ
米子RC 1/15・22(金)臨時休会 ビジター受付なし
米子南 1/18・25(月) " "
米子中央 1/28(木) " "



ロータリーは機会の扉を開く
ROTARY OPENS OPPORTUNITIES

<本日のプログラム>

「ロータリーの友」12月号・1月号紹介
雑誌委員会 岡久治リーダー

『12月号』

横書き

- P 3 RI会長メッセージ
- P 13 どうなる？クラブの今後
- P 22 躍動する台北
- P 44 大人の着こなし図鑑 テーマ:コート
- P 54 ロータリーの未来を築く:行動人のための、行動による大胆な計画
- P 58 エバンston便り
- P 61 ロータリー財団管理委員長からのメッセージ:人類が私たちの仕事

『1月号』

横書き

- P 3 RI会長メッセージ
- P 7 職業奉仕月間特集—私のプライド、その仕事—
- P 20 東京ロータリークラブ 祝！創立100周年
- P 26 大人の着こなし図鑑 テーマ:礼服(慶事編)
- P 36 私たちの行動計画 優先事項 参加者の積極的な関わりを促す
- P 39 侃侃諤諤しませんか！原稿募集:新型コロナ体験 得たこと 失ったこと 締め切り3月10日
- P 42 『友』電子版 いつでもどこでも『ロータリーの友』
- P 45 ロータリー財団管理委員長からのメッセージ:美しい環境を子どもたちに残そう

縦書き

- P 13 宅話の泉:おせち料理あれこれ
- P 14 ロータリー俳壇・歌壇・柳壇
- P 30 声:10月号の感想

年男・年女放談

石井敬薫会員

私は昭和12年1月15日生まれです。成人の日に生まれました。永島さん、坂口さんの紹介で入会しました。人格を持った先輩方でしたが、昔は先輩の意見は絶対で入会しました。入会した頃は私の知識経験では覚束ないと思いましたが、先輩の立場を考えて頑張ってみました。また多くの先輩方が肩を叩いて励ましてくれました。人間味を感じました。そうしたことで今日を迎えています。こんないい勉強の出来る場所は他にはないと思います。84歳になると、あと如何に生きていくかを考えますし、体を元気に保って1日1日を生きていきたいと思えます。

永島清孝会員

今年(辛丑年)は(かのとうしどし)であり、私は6回目の年男に当たります。丑年生まれと言うと私は子供の頃よりあまり良いイメージは持っていませんでした。それは親からお前は丑年だから何をしても遅い、のろいなどと言われてきたかもしれません。しかし大人になって考えてみると、行動を起こす前にいろいろと段取りを考えたりすることを丁寧にしたりますものだから、結果としてすることに時間がかかるということではないかと思うようになりました。私は他の人と同じ事をするには3倍努力しないと行けないといつも思っています。さて私が小学校の時から続けている剣道にはこのような教えがあり

ます。『正師を得ざれば学ばざるに如かず』。つまり正しい良い師匠について一生懸命稽古をしなければ良いものは身に付かない、上手にならないと言うことです。私はおかげさまで剣道を始め、その他の趣味においても良い師匠に出会うことができました。しかし仕事についてはこれといった良い師匠に会えなかったというか、仕事で出会ったそれぞれの人が仕事の師匠だったのかもしれない。今になって1つだけある人のお話が心に残っております。その人は私に会うといつも「商売はどうか、儲かっているのか、商売は儲けるから商売なんだ。赤字が出る商売は商売と言えないぞ。赤字が出るようならささと辞めて他に儲かるもの考えたほうがいいぞ。よく考えてみる、赤字を出す事は出血することだ。その辺をよく考えて商売することが大事だぞ」と言われたことをよく覚えています。

新年早々縁起でもないことを言いましたがロータリークラブは各代表する人たちの集まりです。ロータリークラブには若い皆様の師匠になる人がたくさんいらっしゃいます。どうか自分の師匠を見つけて心豊かな人生を送っていただきたいと思っております。

荒川圭三会員

60歳になります。父が始めた荒川耳鼻咽喉科が50周年を迎えました。まだ父が現役でやっているのも凄いこと、ありがたいことだと思います。10年毎20年毎に人生の転機を迎えています。10歳の時に父が開業しました。20歳の時に大学に入りました。40歳の時米子に帰って、またロータリークラブにも入会させて貰いました。子供が3人いますが、今年長女が大学を卒業して就職します。2人目も来年卒業します。六十を過ぎると子供たちが親離れしていきます。これからは自分を中心に楽しく、また満足出来る人生を歩んでいきたいと思えます。

面谷博紀会員

私は昭和36年に生まれ60年が経ちました。昭和61年、24歳の時に鳥取大学医学部を卒業しましたので、医師になってはや36年が経ったということになります。平成17年4月に昭和町に開業しました。平成23年4月にロータリークラブに入会させていただいております。平成25年3月に道笑町に移転いたしました現在に至っております。病診連携なくしてはクリニックはやっていけないと思っております。

20歳になる娘がおりますが、少々学費のかかる医学部に入学しました。現在東京に住んでおまして、リモート学習を中心に頑張っていることと思えます。残念ながら成人式は延期となりましたが、将来は米子に帰ってくると言っておりますので、期待はしておりますが、しかし楽しみにしています。

家内は相変わらず日々ガーデニングに精を出しています。昨年4月からNHKテキスト『趣味の園芸』に毎月、5ページにわたり四季折々のクリニックの庭を紹介させていただいております。当初1年間の予定でしたが、さらに1年連載が延びることになり、益々力が入っております。

新型コロナウイルス感染症については日々気を遣いながら診療にあたっていますが、最前線で治療にあたっておられる病院の先生方あるいは保健所の皆様には心から敬意を表します。

入会して約10年、お蔭様で遅刻をしながらもホーム出席100%をなんとか維持をしていますが、今後も本業を大切にしながら、しかし出席にはこだわりを持ちながらロータリーを楽しもうと思っております。

次回プログラム

2/17「ロータリーの友」紹介

「年男・年女放談」

雑誌委員会 井上雄介副リーダー

細田耕治 会員・古杉 淳 会員・安達聡子 会員予定